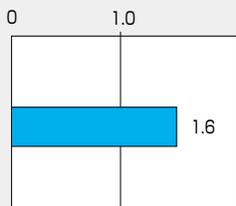


227P

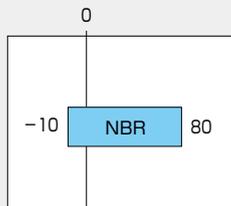
弁呼び径

650~2400mm

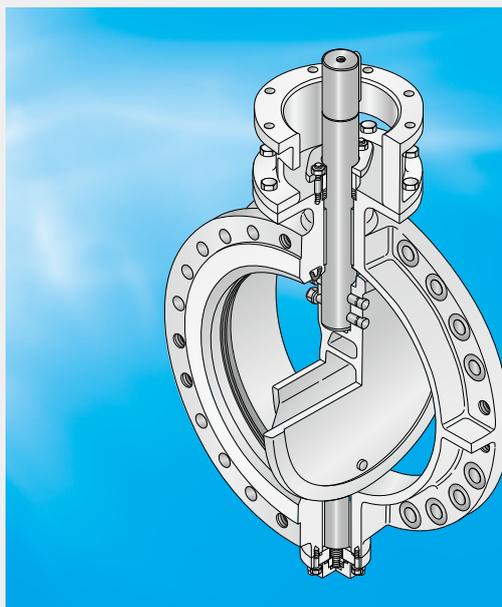
最高許容圧力 MPa



使用温度範囲 °C



セミカスタム仕様



世界トップの技術と信頼の実績が生み出す、自信の大口徑227P。

■特長

- 低トルク、長寿命を約束する独特のシートリング
- アーチ構造の弁体
- 確実な軸封構造
- 電食を防止したベアリング
- 弁棒と弁体はテーパピン結合
- ブロンズ製のスラストベアリング
- シートリングの交換が可能
- 受注設計のセミカスタム仕様

227P 標準仕様		
本体形状(芯出し方式)	偏心型フランジタイプ	
弁呼び径	650mm~2400mm	
適用フランジ規格	JIS 5K/10K/16K, DIN NP10/NP16, ASME Class 125/150, JPI Class 150, AWWA	
最高許容圧力	1.6MPa	
試験圧力	本体耐圧	2.4MPa(水圧、最大)
	弁座リーク	1.8MPa(最大)
使用温度範囲	-10°C~80°C(NBR)	
連続使用温度範囲 *1	0°C~60°C(NBR)	
標準材質	本体	FCD450, SCPH2
	弁体	SCS13, CAC702
	弁棒	SUS304, SUS630, モネルK-500
	シートリング*2	NBR, EPDM
特殊仕様	本体内面ラバーライニング	
塗装	エポキシ樹脂系塗装(マンセルN7)	

* 各種アクチュエータ選定表は別途用意しております。全体寸法をお知りになりたいときは、使用条件を弊社営業担当にお問い合わせください。

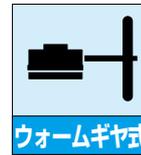
* アクチュエータ：ON-OFF用、スロットリング用など種々のアクチュエータをご用意しています。

駆動方法も、手動、空気圧、油圧、電気と設置条件に合わせてお選びいただけます。

上記以外の仕様も製作いたします。弊社営業にご相談ください。

*1. 連続使用温度範囲とは、1時間を超えて連続で使用する場合を示します。現在連続して70°Cを超える範囲でご使用されていて、問題がなければ継続してご使用可能と判断いたします。

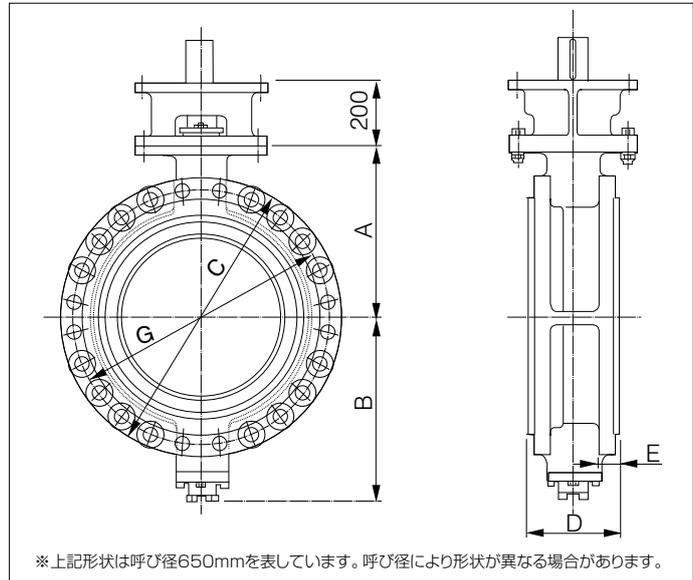
*2. 塩素を含む流体の場合、濃度・温度等の複合要因により、シートリングが早期に劣化する恐れがあります。詳細につきましては、弊社営業にご相談ください。



227P 主要寸法表

呼び径		主要寸法 (mm)					
mm	inch	A	B	C	D	E	G
650	26	505	535	845	254	46	780
750	30	543	613	984	305	54	914
900	36	648	727	1168	305	60	1086
1050	42	737	815	1346	305	67	1257
1200	48	819	905	1511	381	70	1422
1350	54	905	991	1683	381	76	1594
1500	60	991	1108	1854	381	79	1759
1650	66	1092	1192	2032	457	86	1930
1800	72	1175	1299	2197	457	89	2096
1950	78	1320	1387	2362	457	83	2254
2100	84	1404	1514	2534	457	89	2426
2250	90	1495	1610	2705	533	96	2597
2400	96	1610	1715	2877	610	102	2756

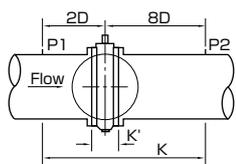
- 上記の寸法は一例です。フランジ規格によって寸法が異なります。弊社営業担当にお問い合わせください。
- JIS 5 K/10K、DIN NP10/NP16、ASME Class 125/150、JPI Class 150、AWWAの規格に適用できます。
- 配管にあたっては、フランジ規格にあった寸法のガスケットを使用してください。



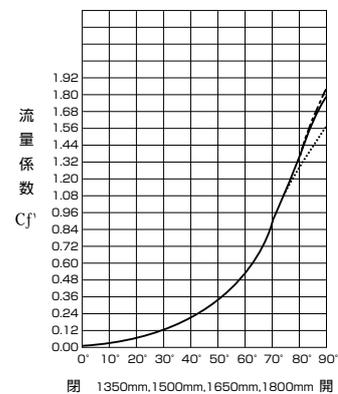
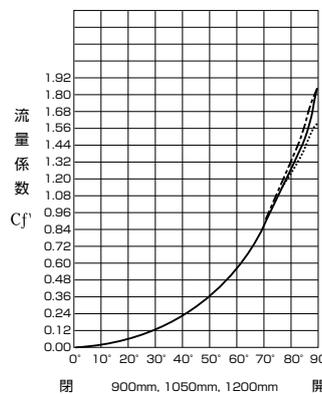
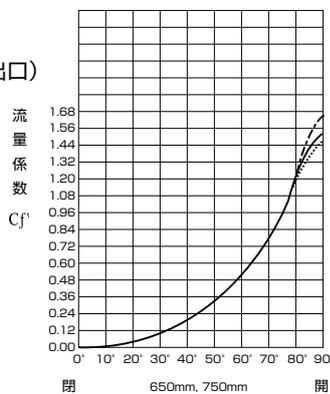
227P バルブデータ

227P
650mm~1800mm
(26"-72") 圧力分類
(パイプ入口 ——— パイプ出口)

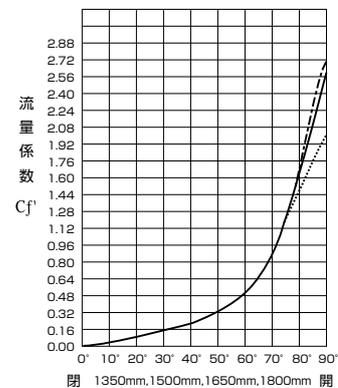
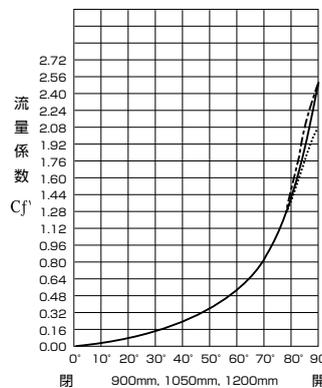
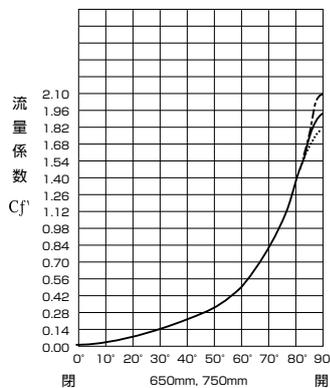
25A, 25B ———
75A, 75B ———
150A, 150B
C_f'



「K」に基く流量係数



「K'」に基く流量係数



$$\Delta H = \frac{V^2}{C_f^2 \cdot 2g}$$

但し、
 ΔH = ヘッドロス 水柱フィート
 V = パイプ中の流速 feet/sec.
 C_f = 流量係数 パイプ径の10倍の配管とバルブの合計値
 C_f = 流量係数 バルブのみ
 g = 32.17 feet/sec.

Cv値
 $C_v = 4294 C_f \times D^2$ D: パイプ内径 (feet)